

昭和52年度 第5回シグマ研究委員会運営委員会議事録

日時 : 昭和52年10月14日(金) 13:00 ~ 17:30
場所 : 日本原子力研究所 東京本部第22会議室
出席者 : 塚田(主査, 原研), 中嶋(法大), 飯島(NAIG), 松延(住友原工), 更田,
五十嵐(原研)
オブザーバ : 菊池(康), 浅見(哲)(原研)

配布資料

1. 前回議事録
2. 2年報の分担
3. 52年度上半期シグマ研究委員会旅費使用状況
4. INDC/P(77)-44, Preliminary information on the 1978 IAEA Advisory Group Meeting on Nuclear Data for Fusion Reactors.
5. A Proposed Distribution List for the Proceedings of the IAEA Consultants' Meeting on Integral Cross-Section Measurements in Standard Neutron Fields for Reactor Dosimetry.
6. Contribution to Actinide Newsletter.
7. Contribution to Neutron Nuclear Data Evaluation Newsletter-23
8. MEMORANDUM from NEANDC Secretariat
9. MEMORANDUM, Comments on NEACRP-A 291
10. NEANDC 109 'A'

議 事

1. 前回議事録確認
2. 2年報

資料(2)により前回の議事結果の確認を行った。

3. 専門部会活動

遮蔽定数WGの作業はコード上のトラブルで一時停止しているが後半にとりもどすことが報告された。また, 事務局より資料(3)により委員会旅費の現状の説明

があり、旅費についてはWGリーダーと事務局とで打合せて調整することになった。

4. Compilation of National Nuclear Data Committee

更田委員より、12月1日までに改訂する必要がある、田中(一)氏グループには連絡したことが報告された。

5. IAEA Fusion Data Advisory Meeting

更田委員より、隈部氏と関(泰)氏を推せんする手紙を出したことが報告された。また、その手紙を出した後で資料(4)が送られてきたので、意見等があったら至急連絡して欲しいことが述べられた。

6. Distribution List

Vlasov氏へ資料(5)のlistを送付したことが報告された。

7. Newsletter

五十嵐委員よりActinide Newsletter(資料(6)), Neutron Nuclear Data Evaluation Newsletter(資料(7))へ投稿したことが報告された。

8. Specialist Meeting on Cross Sections relevant to Actinide bildup

この会議の開催時期を変更したい旨の手紙(資料(8))があり、塚田主査よりO.K.の返事を出したことが報告された。

9. Comments on NEACRP-A 291

NEACRPからの質問状に対し、核データセンターでcommentsを作成して(資料(9))送付したことが報告された。その関連で資料(10)の説明が行われた。

10. 77 Tokyo conf 後のこと

会議の後、Raman氏(ORNL), Nix氏(Loss Alamos), Bolotin氏(Univ of Melbourne)が原研へ来て討論を行ったことが紹介された。

11. 核データ専門誌

吉沢氏(広島大)から核データに関するJournal誌が考えられないかとのコメントがあったことが紹介され討議を行った。

○NSEでカバーできない部分があるか。 ○データを検討するとなるとレフリーが大変である。 ○国際的にはどうなのか。 ○INDC等へ話を出した方がよくないか。等の意見がありこの件は継続して審議することになった。

12. Informal Meeting

原子力学会秋の分科会でのInformal Meetingについての反省として, speaker

は2人でよかった。時間を制約されるのはまずい。free discussionの時間をとる必要がある等の意見が出た。

13. オブザーバー

菊池(康)氏と浅見(哲)氏に継続してオブザーバーとして出席してもらうことが確認された。

14. "JAP" の名称について

Bolotin 氏からの "JAP" の名称を変更した方がよいとのコメントが紹介され、議論の結果、この名称にこだわらないことにし、変更しないことにした。

15. INDC & NEANDC の Document Category

Document Category のUとかEは distribution だけの区分にし、引用の区分は別にすることを INDC へ提案したい旨が報告された。

16. IAEA 2nd Advisory Group Meeting on FPND (1977. 9/5-9, Petter) の報告。

飯島委員より会議の詳細について報告があり、討議が行われた。(詳細は省略)

以 上